



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2026年8月13日

上場会社名 ぴあ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4337 URL <https://corporate.pia.jp/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 矢内 廣
問合せ先責任者 （役職名） 専務取締役コーポレート担当 （氏名） 吉澤 保幸 TEL 03-5774-5278
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無 ： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	14,186	3.8	1,031	△56.1	1,023	△56.8	565	△63.9
2026年3月期第1四半期	13,667	33.1	2,351	253.1	2,371	265.2	1,564	158.0

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 565百万円（△63.6％） 2026年3月期第1四半期 1,552百万円（149.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	36.83	—
2026年3月期第1四半期	102.16	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	123,758	10,772	8.7
2026年3月期	117,249	10,753	9.2

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 10,768百万円 2026年3月期 10,749百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	48,000	△13.2	2,500	△42.0	2,300	△47.1	1,500	△54.8	97.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	15,668,713株	2026年3月期	15,668,713株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	321,825株	2026年3月期	321,824株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	15,346,889株	2026年3月期1Q	15,312,397株

(注) 株主資本において自己株式として計上されている株式給付信託 (BBT及びBBT-RS) が保有する当社株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信 (添付資料) 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、所得環境の改善期待やインバウンド需要の拡大等により、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、世界的な金融政策の動向や物価上昇への懸念など、不確実性の高いマクロ環境も継続しております。この状況下にあっても、当社が事業基盤とする国内レジャー・集客エンタテインメント市場は、依然としてライブ・イベント開催の活発な動きが継続し、堅調に推移しております。

こうした経営環境下、当社では「感動のライフライン事業」の構築を目指した長期ビジョンのもと、今期より「事業基盤の確立・拡充」と「事業インフラ構築への積極投資」を軸とした、新たな三ヶ年の中期経営計画を策定しました。その初年度における当第1四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、来日アーティストの大規模公演、人気グループの全国ツアーをはじめ、大型興行、大規模フェス、プロスポーツ等のチケット販売が好調に推移した結果、取扱高は880億円を超え、四半期単位では過去最高の水準となり、この間の売上高の増加基調を堅持しております。一方、利益面につきましては、前年同期に特需的に計上された「大阪・関西万博」関連収益が剥落したことに加え、次世代システムへの移行費用の計上開始等により、前年同期を下回っているものの、こうした今期特有の要因を除いた稼ぐ力は順調に伸長しており、当社グループの業績は、中期経営計画の想定通り着実に進捗しております。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間は、売上高141億86百万円(対前年同期比103.8%)、営業利益10億31百万円(対前年同期比43.8%)、経常利益10億23百万円(対前年同期比43.1%)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億65百万円(対前年同期比36.1%)となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

<イベント(主催事業含む)>

- ・プロ野球公式戦/サッカーJリーグ
- ・TREASURE/ONE OK ROCK/Mrs. GREEN APPLE
- ・The Weeknd/FRUITS ZIPPER/NiziU
- ・福山雅治/Mr.Children/SEKAI NO OWARI
- ・ROCK IN JAPAN FESTIVAL
- ・ディズニー・オン・アイス

<メディア商品>

- ・「ロイヤルホストびあ」
- ・「森のカフェと緑のレストラン」シリーズ

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、1,237億58百万円となり、前連結会計年度末と比較して65億9百万円増加いたしました。流動資産は986億95百万円(前連結会計年度末比54億38百万円増)となりました。変動の主なものは、現金及び預金の増加(同17億51百万円)と売掛金の増加(同8億74百万円)であります。また、固定資産は250億62百万円(前連結会計年度末比10億70百万円増)となりました。変動の主なものは、無形固定資産の増加(同8億25百万円)であります。

負債は、1,129億85百万円となり、前連結会計年度末と比較して64億90百万円増加いたしました。流動負債は962億99百万円(前連結会計年度末比67億34百万円増)となりました。変動の主なものは、買掛金の増加(同61億10百万円)であります。また、固定負債は166億86百万円(前連結会計年度末比2億44百万円減)となりました。変動の主なものは、長期借入金の減少(同2億54百万円)であります。

純資産は、107億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して18百万円増加いたしました。主に親会社株主に帰属する四半期純利益5億65百万円の計上と配当金の支払いにより利益剰余金が18百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月14日に公表しました予想数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,749	56,500
売掛金	32,289	33,163
棚卸資産	158	203
その他	6,122	8,891
貸倒引当金	△63	△63
流動資産合計	93,256	98,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,815	9,709
工具、器具及び備品（純額）	425	474
土地	724	724
その他（純額）	201	186
有形固定資産合計	11,166	11,095
無形固定資産		
ソフトウェア	3,503	3,200
ソフトウェア仮勘定	3,245	4,379
その他	134	129
無形固定資産合計	6,883	7,709
投資その他の資産		
投資有価証券	1,219	1,251
退職給付に係る資産	90	90
その他	5,447	5,734
貸倒引当金	△814	△818
投資その他の資産合計	5,941	6,257
固定資産合計	23,992	25,062
資産合計	117,249	123,758

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	67,814	73,925
1年内返済予定の長期借入金	1,015	1,015
未払金	5,405	4,090
未払法人税等	1,587	486
賞与引当金	895	20
その他	12,847	16,762
流動負債合計	89,564	96,299
固定負債		
長期借入金	14,799	14,545
株式給付引当金	388	394
退職給付に係る負債	48	52
資産除去債務	1,423	1,423
その他	271	271
固定負債合計	16,931	16,686
負債合計	106,495	112,985
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,483	6,483
資本剰余金	2,648	2,648
利益剰余金	2,442	2,460
自己株式	△910	△910
株主資本合計	10,663	10,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	4
為替換算調整勘定	△14	△9
退職給付に係る調整累計額	93	90
その他の包括利益累計額合計	85	86
非支配株主持分	3	4
純資産合計	10,753	10,772
負債純資産合計	117,249	123,758

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	13,667	14,186
売上原価	7,485	8,962
売上総利益	6,181	5,224
販売費及び一般管理費	3,830	4,192
営業利益	2,351	1,031
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	2
持分法による投資利益	42	31
諸債務整理益	52	13
助成金収入	29	38
その他	0	0
営業外収益合計	125	87
営業外費用		
支払利息	83	88
その他	21	7
営業外費用合計	105	95
経常利益	2,371	1,023
税金等調整前四半期純利益	2,371	1,023
法人税等	807	457
四半期純利益	1,564	565
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,564	565

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,564	565
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△2
退職給付に係る調整額	△5	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	5
その他の包括利益合計	△11	0
四半期包括利益	1,552	565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,553	565
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

当社の四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び期中連結財務諸表に係る我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略を適用）に準拠して作成しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

当社グループの報告セグメントは、「レジャー・エンタテインメント関連事業」を主要な事業としており、その他の事業セグメント重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

当社グループの報告セグメントは、「レジャー・エンタテインメント関連事業」を主要な事業としており、その他の事業セグメント重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	627百万円	569百万円